



～ 自他共栄～ NO.30

2025年3月11日

発行責任者 根岸 大智

編集責任者 情 宣 部

2025JR総連春闘

青年部員の生の声を会社経営陣にぶつける！！

青年部 本社要請行動実施

3月11日(火)14:00より、本部青年部はJR貨物本社にて、本社要請行動を行いました。この要請行動にむけ、全青年部員を対象に『1人1枚記名による抗議メッセージ』の取り組みを行ない、集まった596名分の直筆メッセージを会社に手渡しました。「ここに書かれていることが青年部員の“生の声”である」として、確実に会社経営陣に伝え渡すよう訴えました。要請内容の要旨は以下の通りです。

- 近年の物価高騰によって、私たちの実質賃金は年々目減りしており、私たちは切実に一律額でのベア15,000円満額回答を求めている！
- 抗議メッセージの中で、「職場の仲間が会社を辞めていき、寂しくなる。」という内容のものがあった。賃金をはじめ、待遇面での不満を理由とした離職が一定数ある中で、**経験を積んで技術を持った社員を大切にしていかななくては、今の深刻な人材流出に歯止めをかけることができない！**
- 全国的に慢性的な職場の要員不足は、年休が入らないどころか特休買い上げが常態化しており、**安全・安定輸送のためにも、新規採用の確保と離職防止に危機感を持つべきだ！**
- 私たちは全国各地で、自分の仕事や職場に誇りを持って働いている！しかし、地域イベント等での**JR貨物の認知度の低さ**を痛感する場面もある。JR貨物の認知度を高くしていく伸びしろはまだまだあり、特に**地元採用の確保**にむけて、**地方でのアピールが今以上に必要**である！
- とある地方の大学での企業説明会において、他会社は待遇面を前面に押し出すようなプレゼンであったが、**JR貨物はキャリアプランがメインの内容であり、待遇面を押し出せないのではという印象**であったと聞いた。これは間違いなく、待遇面では他企業と対等に渡り合えない今の「選ばれない会社」となっている要因の一つになっているのではないか！
- 私たちの**働くモチベーションを上げるためには、ベースアップの満額回答は必須**であり、引き続き職場の生の声を聞くべきだ！

私たち青年部員の生活の保障と、人材確保は会社の重大な責務である！！
会社経営陣は、今日の切実な訴えを真摯に受け止め、誠意ある満額回答を！！